

官報

號外 昭和九年二月二十日

○第六十五回 貴族院議事速記録第十八號

帝國議會

昭和九年二月十九日(月曜日)午前十時二十二分開議

議事日程 第十八號

昭和九年二月十九日

午前十時開議

第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第三日)

第二 裁判所構成法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔角倉書記官朗讀〕

去ル十六日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

裁判所構成法中改正法律案可決報告書

非訟事件手續法中改正法律案可決報告書

一昨十七日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

兵役法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

會計検査院法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

官報號外 昭和九年二月二十日 貴族院議事速記録第十八號 議長ノ報告會議請暇ノ件 日程變更ノ件 裁判所構成法中改正法律案外一件 第一讀會ノ續 二〇七

家祿賞典祿給與未済ニ關スル法律案
同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
請願委員會特別報告書第一號

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致シマス、本會期中、議院ノ會議時間ニ於テ、常任委員會、特別委員會ヲ開キタキ旨ノ要求ガアリマシタル場合、議事ニ支障ナキ限り、議長ニ於テ之ヲ許可スルコトニ致シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 八田嘉明君ヨリ、公務ニ付キ十日間ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 此際日程變更ニ付テ御諮リヲ致シマス、議事ノ都合上、日程第二及第三ヲ第一ノ前ニ繰上ゲタイト存

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

ジマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス、日程第二及第三ハ同一委員ニ付託サレマシタカラ、之ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

續法中改正法律案、是モ併託ニナテ居リマスノデ兩方御報告申上ゲマスガ、初メニ裁判所構成法中改正法律案ノ方ヲ御報告申上ゲマス、當案ノ提案理由ハ、司法大臣カラ此席ニ於テ御説明ガゴザイマシタカラ、改メテ詳シク申上ゲル必要ガナイト存ジマシマス、大體ニ於テ其趣意ハ地方裁判所ノ判事ガ手不足ニナテ居ルカラ、ソレヲ適當ナ方法ニ於テ緩和シヤウト云フ趣意デアルト存ジマス、ソレニ付テ詳シイ數字其他ハ既ニ御舉ゲニナテアッタ考ヘマスノデ此處デ繰返シマセヌガ、例ヘバ大正十三年、其時ノ事件ノ受理數、事件數ガ四千百餘デアリマス、ソレカラソレヲ大正八年ノモノニ比ベマス、大正八年ニハ七千七百餘件ト云フ風ニ數ガ増加シテ居リマスガ、之ヲ擔當スベキ豫審判事ノ數ト云フモノハ其率ヲ以テ無論殖エテ居ラナイ、其間ニ非常ナ不都合ガアル、且ツ檢事ノ方ハ所謂檢事一體ノ原則ニ依リマシテ融通ガ出來マスガ、判事ノ方ハサウ云フコトニナテ居ラナイト云フコトデアリマス、尙ホソレニ付テ色々研究ヲ致シテ見マシタガ、大體ノ趣意ニ於キマシテハ御尤ノコトデアルト云フコトハ委員會デ認メラレタノデアリマス、ソレデ特色質問モ出マシタガ、其實問ヲ通ジマシテ政府ノ意圖ヲ知り得タコトハ、只今話ニナテ居リマス、衆議院ノ方ニ提出ニナテ居リマス治安維持法、ソレノ改正ニ何カ必然的ノ關係ガアルノデアルカ、無いノデアルカト云フヤウナ問題ニ付テモ質問ガ出タノデ

アリマスガ、之ニ付テハ必然的ノ關係ガアル譯デハナイ、既ニ現行法ニ於テ手不足ナノデアアルカラ、ソレヲ補フ意味デアルト云フコトガ明カニサレマシタ、ソレカラサウ云フコトデ又不足ヲ來シハシナイカ、將來十分ナノデアアルカドウカト云フヤウナコトニ對シマシテモ、當分ノ中ハ、今考ヘラレル間ハ十分デアルト云フ意味ノ返答ガアリマシタ、ソレカラ豫算ニ關スルヤウナコトニ於テ考慮ガアルカト云フコトモアッタデアリマスガ、是モ十分デアルト云フコトデアリマシタ、其外ハ大體ニ於キマシテ、一方ニ於テ非常ニ趣意トシテ宜イガ、ソレヲ覆スベキ不都合ト云フコトハ、何等委員會ニ於テハ發見サレナカッタデアリマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以チマシテ、可決スベキモノト相成ッタ次第デアリマス、續イテ非訟事件手續法中改正法律案ノ方ノ報告ヲ申上ゲマス、非訟事件手續法ヲ此度改正シヤウト云フノハ、第二百六條ノ中ニ於キマシテ規定シテゴザイマス第五百三十六條ヲ削ルト云フノデアリマスガ、是ハ商法ニ於キマシテ、振出人ガ小切手ヲ、自分ノ支拂ヒ得ル金額以上ニ振出シタ場合ノ制裁規定ニ關スルモノデアリマス、所ガ第六十四回ノ議會ニ於キマシテ協賛ヲ經テ、昨年七月二十九日公布セラレマシテ、本年一月一日カラ施行セラレマシタル小切手法、其中ニ同ジク、司法ノ第七十一條ハ過料ノ制裁ノ手續ガ規定シテアリマス、ソレヲ制裁規定ヲ何處ニ持ッテ行クカト云フ點ニ於キマシテ、非

訟事件手續法ノ中ノ第二百六條、ソレヲ改正イタシマシテ、其中ニ小切手法第七十一條ヲ加フト云フ風ニ加ヘテ、ソレニ依ッテ制裁ヲスルト云フ方ガ適當デアラウ、サウ云フ趣意デアルト考ヘマス、是ハ頗ル適當ナ方法デアラウト云フコトヲ皆委員會ハ考ヘマシテ、特別ナ御意見モナク同ジク可決スベキモノト致シマシタ、右ヲ以チマシテ同委員會ニ付託サレマシタ二ツノ改正法律案ノ御報告ヲ申上ゲマス

○議長(公爵近衛文麿君) 別ニ御質疑ガナケレバ是ヨリ採決イタシマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○子爵植村家治君 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵戸澤正己君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマス、委員長ノ報告通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○子爵植村家治君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵戸澤正己君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 第三讀會ヲ開キマス、全部第二讀會ノ決議通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第一、國務大臣ノ演説ニ關スル件、通告順ニ依リマシテ、金杉英五郎君ニ發言ヲ許シマス

〔金杉英五郎君演説ニ登ル〕

○金杉英五郎君 私は結核豫防國策ニ付キマシテ内務大臣ニ御質問申上ゲ、兼ネテ陸軍大臣、海軍大臣ノ御意見ヲモ拜聴イタシタク登壇イタシタ次第デアリマス、知行合一、言行一致ハ士君子ノ正ニ遵守シナケレバナラヌモノデアアルコトハ申ス迄モナク、特ニ爲政家ニ於キマシテハ、善政良策ヲ施行スル上ニ於キマシテ知行合一、言行一致ト云フコトハ要諦デアルト信ジマス、然ルニ私ハ過去十數年間、歴代内閣ニ對シ健康保健、特ニ結核豫防ノコトニ付キマシテ意見ヲ申述べ、御意見ヲ拜聴イタシマシタ

ルニ、毎回、此事柄ハ甚ダ遺憾ノコトデアアル、同感デアルト云フコトヲ承ッテ居リマスルガ、未ダ何等實行ノ狀態ヲ發見シナイノデアリマス、即チ歴代ノ爲政家ハ知行合一、言行一致ト云フコトヲ極ク輕ク視ラレテ居ラレルヤウニ考ヘマシテ、甚ダ遺憾千萬ニ存ジマスル次第デアリマス、併ナガラ山本内務大臣ハ私が過去二十年間知遇ヲ辱ウシテ居リマスル關係上、必ズ知行合一、言行一致ヲ嚴守セラル方デアリマシテ、此ノ方デアッテ初メテ私ノ申上ゲルコトヲ御實行ナサルコトト信ジマシテ、十數回ノ質問ニ何等ノ效果モ收メナイノニモ懲リズニ、今日又復此處ニ出デマシテ御質問申上ゲマスルコトニ相成リマシタル次第デアリマス、時間ヲ節約イタシマスル關係上、半バ朗讀的ニ申上ゲマスルコトノ御許シヲ願ヒタイト存ジマス、凡ソ國民ハ國家存立ノ最モ緊要ナル元素デアリマスルコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマス、而シテ健全ナル國民ハ、國家ノ存立乃至ハ國運隆昌ノ唯一ノ基礎デアリマスルコトモ申上ゲル迄モナイコトデアリマス、其國ノ國民ニシテ國民精神ガ旺盛ナル時ハ、其國ハ旭日ノ勢ヲ以テ隆昌ニ赴クノデアリマス、其國ノ國民ニシテ國民精神ノ弛緩スル時ハ、其國ハ墮落ニ衰亡ニ陥リマスルモノデアアルコトハ、歴史ニ徴シテ明カナコトデアリマス、國民精神ノ旺盛ナル時代ニ於キマシテハ、「スバルタ」、希臘、又羅馬等ハ共ニ其國勢ヲ増加シタノデアリマスルケレドモ、國民精神ガ衰フル

ニ及ビマシテ、是等ノ國々ハ其國勢ガ衰ヘ、遂ニ滅亡ノ殘酷ナ狀態ヲ見ルニ至ラタノデアリマス、古イ言葉デアリマスルガ、健全ナル精神ハ健全ナル身體ニ宿ルモノデアリマス、國民精神ガ旺盛デアルカ否ヤハ、實ニ其國民ガ健康デアルカ健康デナイカニ懸テ存スルノデアリマス、國民ノ健康ガ保持増進サレテ國民精神ガ揚リ、從テ國力ノ増長ヲ來スノデアリマス、是ト反對ニ國民ノ健康ガ失ハレテ國民精神ガ消耗シ、爲ニ國力ノ減退ヲ結果スルノデアリマス、サレバ國民健康ノ保持増進ヲ圖ルコトハ、國運ノ隆昌ヲ念慮スル國家ノ寸時モ等閑ニ付スベキモノデハナイノデアリマス、國民ノ健康ノ保持増進ヲ圖ルコトハ衛生事務デアリマシテ、最モ大切ナコトデアルト存ジマス、我國ニ於キマシテハ衛生事務ニ付テ、爲政家竝ニ國民ガ餘リニ無關心ナルノニ驚クノデアリマス、其證據ト致シマシテハ、總理大臣ノ施政方針ニモ、一言ノ衛生保健ニ關スル事柄ハアリマセヌノミナラズ、一大政黨タル政友會ノ所謂五大政策ナルモノノ中ニモ、衛生保健ニ關シテハ片鱗ダモ現レテ居ナイノデアリマス、御承知ノ通り歐米諸國ニ於キマシテノ施政方針第一頁ハ衛生保健ノコトデアリマス、特ニ今日ヨリ二三十年前ニ於キマシテハ、衛生保健ヲ措イテハ政治ハナイト云フマデ歐米諸國デハ申シテ居タノデアリマス、尙ホ衛生保健ニ無頓著ナル一例ハ、輔弼ノ臣デアアル所ノ國務大臣ガ、此數箇月間ニ四名マデモ病氣ニ罹ラタコ

トニ依テモ分ルコトデアリマス、而モ總理大臣ハ御病床中ニアルト云フコトデアアルシ、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスレバ、數日ノ中ニ又一人ノ病人ガ出來ルト云フヤウナコトサヘ記録シテアリマス、是ハ事實如何ハ存ジマセヌケレドモ、何レモ精神的カ若クハ肉體的ニ衛生保健ノコトニ無關心デアルト云フ最モ好キ例デアリマシテ、歐米諸國ニ對シマシテモ、文明國トシテ甚ダ愧ヂナケレバナラヌコトデアルト存ズルノデアリマス、我が日本帝國ハ明治維新以來歐米ノ文物ヲ輸入シ、國防ニ、交通ニ、教育ニ、産業ニ、其他ノ百般ノ方面ニ於キマシテ、既ニ世界ノ一等國ト稱セラルル地位ヲ保有スルニ至ラタノデアリマス、特ニ軍事ニ於キマシテハ驚クベキ進歩デアリマス、我々帝國國民デサヘモ夢想ダニセザリシ大進歩ヲ致シテ居リマスルヤウナ次第デアリマス、然ルニ最モ大切ナル衛生方面ニ於キマシテハ、歐米諸國ニ比シテ甚シキ遜色ノアリマスルコトハ、實ニ憂フベキ現象デアルト存ジマス、例ヘバ衛生事務ヲ管掌スル爲ニ、一ツノ衛生省ト云フモノヲ設ケテ居リマスル國ハ既ニ十數箇國ニ達シテ居リマス、遠洲ノヤウナ植民地デサヘ立派ナ衛生省ガ設立サレテ居ルノデアリマス、然ルニ我國ニ於キマシテハ内務省ニ微々タル衛生局、即チ亞米利加アタリデ申シマスルト、一ツノ市ノ衛生課ニモ及バナイヤウナ小サナ所デ、此立派ナル大キナ帝國ノ衛生保健ノコトヲ變理シテ居ルノデアリ

マス、從テ我國ノ死亡率ハ三等國、四等國ト肩ヲ並ベテ居ルヤウナ醜態ヲ示シテ居ルノデアリマス、殊ニ結核ノ數ヲ舉ゲテ見マスレバ、結核ニ因ル死亡ハ獨逸、丁株、白耳義、北米合衆國、和蘭等ハ何レモ人口一萬人ニ付テ十人未滿ノ死亡數デアリマスルガ、我國ニ於キマシテハ一萬人ニ付テ十九人ノ割合ニナッテ居リマス、之ヲ正シク計算イタシマシタナラバ一萬人ニ付テ二十二、三名ハアルノデアリマス、此一事實ヲ以テ我國ノ衛生ガ如何ニ幼稚デアアルコト云フコトヲ雄辯ニ物語ルモノデアルト存ジマスル、ドウシテモ爲政家ハ申スニ及バス、我々國民全般ガ舉テ眞剣味ヲ帶ビテ此衛生保健ノコトニ力ヲ致サナケレバナラヌ時期ガ到來シタト存ズルノデアリマス、國民ノ健康ヲ害スルモノハ申ス迄モナク疾病デアリマス、國民ノ中ニ疾病ガアリマスルコトハ、單リ其患者及ビ患家ノ不幸、不經濟、不生産デアルバカリデナク、國家ノ不經濟デアリ不生産デアアルコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、國民ニ疾病ガアッテ國民ノ健康ガ害セラ

ルル場合ニハ、延イテハ國民精神ハ弛緩シ、國運ノ憔悴ヲ結果スルノデアリマス、ソレ故ニ繁榮ヲ希望スルノ國家ハ、其國民ノ健康ヲ保持シ増進スルコトニ全力ヲ盡シテ居ルノデアリマス、國民ノ健康ヲ保持増進サスルコトハ何ヨリモ最モ容易イコトデアリマシテ、衛生保健ノ施設ガ完全デアリマスレバ、直ニ之ヲ未ダ發セザルニ防グコトガ出來、既ニ發シタルモノヲ防遏スルコトハ容易ナコトデアアルノデアリマス、國民ノ健康ヲ損スル疾病ノ中デ最モ怖ルベキモノハ結核デアリマス、我國ノ死亡統計ヲ見マシテモ、結核ハ昭和五年ニ於キマシテ全死亡率ノ第二位ヲ占メテ居リマス、其他此統計ノ中ニアリマスル呼吸器ノ各種ノ病氣、例ヘバ肋膜炎、肺炎トカ、氣管支炎トカ云フモノノ中ニモ、結核ハ澤山含マレテ居ルノデアリマス、此結核デアッテ結核トシテ届出デザルモノヲ合算イタシマスレバ、全死亡率ノ第一位ヲ占ムルモノハ結核デアリマス、更ニ怖ルベキコトハ此結核ガ主トシテ青年期ニ起ル病氣デアルト云フコトデアリマス、年齡中ノ人口一萬人ニ付テ申シマスレバ、二十歳ヨリ二十四歳迄ノモノニ於キマシテハ四八、三六、二五歳ヨリ二十九歳迄ノ者ニ於キマシテハ三六、八四ノ多數ヲ占メテ居ルノデアリマス、此青年期ハ申ス迄モナク國家ノ中堅ヲ爲スモノデアリマシテ、是等中堅ノ國民ガ結核ノ爲ニ蠶食イタサレテ居リマスルコトハ、延イテハ國民全體ノ健康ノ消長ニモ大ナル影響ヲ及ボス譯デアリマス、此頃子供ガ背ガ伸ビテ來タカラ、國民ガ健康ニナッタト云フヤウナコトヲ能ク素人ハ申シマスル、我々ノ控所ニ於キマシテモ能ク其話ガ出マスケレドモ、體ガ長クナッタカラ健康ト云フ譯デハアリマセヌ、長イ體ノ者ニモ澤山結核ガ出來ルノデアリマス、親ガ體ガ長クナッタカラ健康ニナッタトバカリ安心シテ居ルト飛ンデモナイコトニナルコトヲ豫メ申上ゲテ置キマス、

我國ニ於ケル結核死亡數ガ外國ノソレニ比シテ遙ニ高率ニアリマスルコト、及ビ青年期ニ在ル男女ノ死亡ノ數字ガ多數ニ上ボツテ居リマスルコトハ誠ニ怖ルベキコトデアリマシテ、此怖ルベキコトハ私ガ別ニ喋々スルマデモナク、賢明ナル爲政家竝ニ各位ニ於キマシテモ能ク御諒察出來ルコトデアルト存ジマスル、結核ハ之ヲ地域的ニ觀察イタシマスル時ニハ、其流行スル地域ニ何等ノ制限モナイノデアリマス、都會ト云ハズ村落ト云ハズ、齊シク結核ハ猛威ヲ逞ウシテ居リマス、今ヨリ三四十十年前ニ於キマシテハ、山村僻地ニハ結核ハ無イコトニナリテ居リマシタケレドモ、交通機關ノ發達ト同時ニ、都會ト山村僻地ノ交通ガ頻繁ニナリマシタル爲ニ、殆ド今日デハ全國ノ一様ニ之ガ瀰漫シテ居ルノデアリマス、此頃農漁山村等ヲ廻リテ見マシテモ、結核ノ慘害ニハ實ニ驚クベキモノガアリマシテ、爲ニ全村勞働力ガ全ク缺ケテ居ルト云フヤウナ所マデ出來テ居ルノデアリマス、農村問題等ヲ研究シ、又此問題ニ苦心シテ居ラルル所ノ現政府トシテハ、是等ノコトモ實ニ輕ニ看過スベキコトデハナイト存ジマスル、更ニ又結核ハ能ク青年期ニ在ル國民ヲ侵スモノデアリマスルガ爲ニ、是ハ軍部ニ取リマシテハ實ニ緊要ナル關係ヲ有スルコトハ申ス迄モナイコトデアリマシテ、青年期ニ在ル中堅國民ノ健康ガ結核ニ侵サレル場合ニ於キマシテハ、從テ軍ノ主要部分ヲ構成スル下級兵士ノ健康ハ衰退ス

ル譯デアリマス、是ハ皇軍ノ將來ニ取リマシテ實ニ重大ナル問題デアルト思フノデアリマス、右申ス通り結核ハ國民ノ健康ヲ損スルコト最モ甚シモノデアリマス、其及ボス所ノ影響ハ軍部ト云ハズ、農漁山村ト云ハズ、其他凡百ノ方面ニ於キマシテ之ヲ受クルコト大ナルモノデアリマス、國民全體ノ健康ハ爲ニ障害セラレ、國民精神ハ衰退シ、其結果ハ國ノ戰鬪力ニ於テ、其生産力ニ於テ重大ナル影響ヲ受ケ、延イテハ國民ノ消長、乃至ハ國民ノ存立ニモ其累ヲ及ボスモノデアルト云フコトハ申ス迄モナキ次第デアリマス、結核ハ實ニ由々敷重大問題デアリマシテ、有ユル國難中ノ最モ大ナル國難デアアルコトヲ強調シテ止マザル者デアリマス、今ヤ非常時、非常時ト云フコトヲ唱ヘテ居リマスルガ、是等ノ非常時ハ一時のノコトデアアル、又世ノ中デ騒グ程ノ非常時デハナイカモ知レマセス、結核ニ於キマシテハ、是ハ持久的ノ非常時デアリマス、千九百三十五年トカ六年トカ云フヤウナ極ク短期ノ非常時デハナシニ、永久ニ互ル非常時デアルト云フコトヲ能ク考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、何レノ國ニ於キマシテモ人間ノ心ト云フモノハ同ジモノデアリマス、何カ其處ニ非常時ト云フコトガ現ハレマスルコト、其事バカリニ熱中スルノハ人間ノ弱點デアリマス、今回ノ豫算ニ於キマシテモ軍事ニ對スル豫算ハ四割四分ニモ上ボツテ居リマスル、是ハ今日トシテハ實際已ムヲ得ザルコトデアリマスルガ、衛

生保健ニ關スル豫算、殊ニ結核豫防ナドニ關スル豫算ニ於キマシテハ何處ニ書イテアルノカ、サバリ分ラヌヤウナ狀態デアリマス、此永久ノ國難ニ對シテ何處ニ書イテアルノカ分ラヌヤウナ豫算ヲ示スト云フヤウナコトハ、文明國トシテハ誠ニ恥入ル次第デアルト思フノデアリマス、結核豫防法施行ノ爲ニ、結核患者ヲ收容スル爲ニ主務大臣ノ命令ニ依ッテ、人口五萬以上ノ市及其他ノ公共團體ニ於テ、結核療養所ヲ設置スルコトニ相成リ居リマスルコトハ御承知ノ通りノ次第デアリマス、ソレハ大正八年ニ施行サレタノデアリマスルガ、十年ニナリマシテモ其設置ヲ見タル場所ハ僅ニ十七デアリマシテ、其患者收容定員ハ二千七百九十五ノ少數デアリマス、是ハ百萬或ハ百二十萬ヲ突破スル結核ヲ收容スルニ當ルメテ見マスルト、誠ニ言フニ忍ビザル少數デアリマス、所謂九牛ノ一毛トモ申サナケレバナラス、狀態デアリマス、今日ノ狀態ヲ以テ進ミマシテ結核ヲ豫防撲滅シヤウト云フノハ、正ニ木ニ登ッテ魚ヲ求メルト云フヤウナ狀態デアリマス、内務大臣閣下ハ網ヲ引クコトハ大變御上手デアリマス、木ニ登ッテ網ヲ引イテモ魚ハカカラナイト云フコトモ御承知デアラウト思ヒマス、内務大臣閣下ハ是マデノ爲政家ニ比シマスルコト、衛生保健ニ非常ニ御理解ガアリマシテ、結核豫防ノコトモドウカ之ヲ貫徹シタイト云フ御考デ、昨年結核豫防國策ニ關スル調査會ヲ御設ケナリマシテ、不肖圖ラズモ其委員長ト相成リマ

シテ、殆ド一年半ニ互ッテ之ヲ調査考究イタシマシテ、今日ハ略ボ成案ヲ得マシテ、内務大臣ニ御答申上ゲルマデニ相成リ居ル次第デアリマス、之ヲ御答申上ゲマシタナレバ、必ズ御實行ニナルノハ此内務大臣デアルト私ハ確信シテ居ルモノデアリマスガ、ソレガドウ云フコトニ相成リマスルカト云フコトヲ今日伺ヒ置キマスコトハ、甚ダ我々ノ職責トシテ緊要ナコトデアルト云フノデ伺フノデアリマス、只今伺ヒマシタルコトノ要項ヲ尙ホ摘擧シテ申シマスレバ、第一ニ國民ノ結核ノ爲ニ被ル損害デアリマス、昭和六年結核ノ死亡數ガ十二萬千八百七十五人、之ヲ正當ニ調ベテ見マスレバ殆ド二十萬人位ハ結核デ死亡シテ居ルノデアリマス、人口一萬ニ對シテ一八・六四ト統計表ニハ出テ居リマスガ、之モ人口一萬ニ付テ二十二名位ニハ確ニナッテ居ルノデアリマス、年齡別デハ十五歳ヨリ四十九歳ニ至ル者ガ九萬三千九百四十二人、十五歳ヨリ三十四歳ニ至ル者ガ七萬六千七百五十人、推定結核患者數ガ一箇年結核死亡者ノ十倍アルト推算イタシマスレバ、百二十萬八千七百五十人アリマスルガ、是ハ確ニ百五十萬或ハ二百萬人ヅツハ日本中ニ結核患者ガ居ルノデアリマス、經濟上ノ損害、假ニ一人一日一圓ノ醫療費ヲ要スルコトシテモ四億圓以上ヲ要シマス、又患者及家族ノ收入減ヲ考ヘテ見マスルコト、是モ三四億圓ニ達シマスル、産業上ノ損害ハ申ス迄モナク、是ハ勞働能率ヲ減ズルコトハ頗ル大ナ

ルモノデアリマス、教育上ノ損害ニ付キマシテハ、結核ハ教育完成期ニ發病スルモノガ多イノデ、從テ教育ノ成果ヲ損ズルコトハ甚ダ大ナルモノデアリマス、國防上ノ損失ニ付キマシテハ、此頃ハ壯丁ノ検査ニ於キマシテ驚クベキ肺結核患者ノ數ノ多キコトヲ認メルノデアリマス、第二期、第三期ニ至リマスル者ハ比較的少イトシテモ、所謂肺炎加答兒等ノアリマスル者ハ頗ル多イノデ、所謂不合格者ガ年々歳々増加スルノデアリマス、右等ノ事柄ハ申ス迄モナク國力發展又ハ軍事上ノ關係ニ於テ、容易ナラザル事柄デアルト申サナケレバナリマセヌ、二三ノ國トノ比較ヲ申シテ見マスレバ、「イングラント」及「ウェールズ」ニ於ケル死亡率ハ一萬人ニ付テ九・三二、北米合衆國ハ七・四、獨逸ハ八・七、日本ハ一八・七デアリマス、英吉利、北米合衆國、獨逸等ノ統計ハ極ク確實デアリ、日本ノ統計ハ確實デナイニモ拘ラズ斯ノ如キ差異ヲ生ジテ居リマス、其他英吉利、北米合衆國、獨逸等ノ結核病床數、結核相談所等ヲ比較イタシマシタナレバ、マルデ比較ニモ何モナラヌ程ノコトデアリシテ、是ハ別ニ諄々シク今報告スル迄モナク、速記録ノ方ニ、御願ヒシテ速記録ニ載スルコトニ致シマス、要スルニ各國ニ於キマシテハ結核ニ對スル病床數ハ極ク適當ニ出來テ居リ、日本ニ於ケル結核ニ對スル病床數ハ殆ド無イト言テモ宜イヤウナ状態デアリマシテ、此病床ノ無イト云フコトガ結核患者ヲ隔離シ得ザルト云フ

コトデアリマシテ、是ハドウシテモ隔離シナケレバ時々刻々蔓延スルコトハ言フ迄モナイコトデアリマシテ、誠ニ怖ルベク嘆カハシキコトデアルト存ズルノデアリマス、世界各國殊ニ文明諸國ニ於キマシテハ、結核豫防施設ヲ充實セムガ爲ニ、國費及地方費ノ支出ヲ惜マズ、英吉利ニ於キマシテハ一年一人當リガ二志、獨逸デハ一年一人當リガ二馬克ヲ支出シテ居リマス、我國ニ於キマシテハ一人當リ僅ニ五錢三厘ノ少額デアリマス、右ヤウノ状態デアリマスルカラシテ、結核ト云フモノガ怖ロシイモノデアアル、又國運興廢ニ關係ノアルモノデアアル、軍事ニ關係ノアルモノデアルト云フコトヲ御覺リナリマシタナレバ、政府ハ誠意ヲ以テ結核豫防ニ要スル經費ヲ調達スルノ責任ガアリマス、國民モ亦誠ニ無關心デアリマシテ、是ガ歐米諸國デアリマシタナレバ、結核患者二百萬人ガ大學シテ暴動ヲ起サストモ限ラナイ、ケレドモ日本デハ衛生保健ノコトニハマルデ無關心デアリマシテ、誰モ惣ヘル人モナク、況ヤ衛生保健ガ不完全ダカラト云フノデ「ボイコット」ヲスル者モナク、騒動ヲ起ス者モナイト云フコトガ、マダ仕合セナ國デアルト考ヘナケレバナリマセヌ、政府ハ此際宜シク財源ヲドンナコトヲシテモ擡集メテ、或ハ健康保險、簡易保險等ノ資金ヲ活用スル、或ハ已ムヲ得ザレバ富籤デモ競馬デモ仕方ガナイガ、背ニ腹ハ代ヘラレナイカラシテ、一時的ナリトモ莫大ノ財源ヲ集メマシテ、結核調査機關

ト云フモノヲ常設スルカ、或ハ結核局ト云フモノヲ置クカ、何レニシテモ早く此結核ヲ豫防撲滅ノコトヲ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、亞米利加アタリモ今カラ三四十年前ハ日本ノ結核ノ倍數アッタノデアリマス、今日デハアベコベニナリマシテ、此方ガ倍數或ハ三倍トナリ、アチラハ年々歳々減少シテ行クト云フヤウナ状態デアリマス、此點ニ付キマシテ内務大臣ハ、我ニニ結核豫防國策ノ方針ヲ樹テヨトノ御命令ガアリマシタルコトハ、ドウ云フ意思カラ出タノデアアルカト云フコトト、又思切ッテ財源ヲ捻出シテ結核豫防ノ事業ニ充テラレルカト云フコトノ確實ナル御答ヲ、此議場ヲ通シテ國民全般ニ御通知アラムコトヲ希望スル次第デアリマス、又陸軍大臣、海軍大臣ニ於カレマシテモ、必ズヤ陸軍及海軍衛生當事者ヨリ此狀況ハ常ニ御聽キニナ、テ居ルコトト存ジマスルガ、我ニノ調査會ニモ海軍ヨリモ陸軍ヨリモ、醫務局長ヲ煩シマシテ一緒ニ協議シテ居ルノデアリマスルガ、衛生當事者ハ我ミト憂ヘヲ同ジウ致シ、入營者ノ中ニ少カラザル結核患者ノ出ヅルコトヲ非常ニ痛歎シテ居ルヤウナ次第デアリマス、嘸御聽キニナ、テ居ルコトデセウカラ、内務大臣ト能ク御協力ニナリマシテ、軍事ニ御盡シニナルト同様ニ結核征伐ノ爲ニモ御盡瘁アラムコトヲ偏ニ希望イタス次第デアリマス

○國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル

コトニ付キマシテ、金杉君ヨリ詳シイ御説明ガアリマシテ、如何ニモ承リマスレバ承ル程必要ナコトト信ズルノデゴザリマス、只今御述ベニナリマシタ如ク昨年ニ於キマシテモ、此結核豫防ノコトニ付テハ詳シク御説明ガアリマシテ、私モ全然御同感ヲ申上ゲテ居リマシタ、如何ニモ此結核豫防ガ盛ニナリマスレバ國民ノ福利ニ於テモ、國力ノ増進ニ付キマシテモ容易ナラスコトデアリマスル故ニ昨年御答ヘ申シタ後ニ於テ、結核豫防ノ儀ニ付キマシテハ保健衛生調査會ト云フモノヲ設ケマシテ、朝野ノ識者ヲ集メテ、如何ニシテラバ宜シキヤト云フコトニ付テ研究ヲシテ居ルコトデゴザイマシテ、只今金杉君ガ御述ベニナリマシタ如ク、御本人ハ其調査會ノ會長ヲ願ヒマシテ、其後ニ於テナカ／＼御熱心ニ皆御調査ニナ、テ居ルコトデゴザイマシテ、モウ度數ニ於キマシテハ十數回以上デヤラウト思ヒマス、ソレデ今ノ御話ノ中ニモ大概調査ガ進ンデ來タカラシテ、遠カラズ御答申ヲスルデアラウト云フコトデゴザイマス、私ハ其御答申ヲ俟チマシテ、十分ソレニ依ッテ成案ヲ得タイト思ウテ居ルコトデゴザイマス、又斯ウ云フ重大ナル必要ナ事柄ニ於キマシテハ、ナカ／＼相當ナ資金ヲ要スルコトト存ジマス、之ニ付キマシテモ其程度ニ於キマシテ能ク考ヘマシテ成案ヲ得テ、又御同意ヲ得ル如キ事ガ起キマシタナラバ、ソレニ依ッテ十分ニ努力イタシマシテ、金杉

君ノ御話ノ如ク、御希望ニ應ジタイト云フ決心デゴザイマス、此段……

○議長(公爵近衛文麿君) 金杉君ハ重ネテ御質疑ガアルノデアリマスカ

○金杉英五郎君 内務大臣ノ御答辯デ甚ダ満足イタシマシタ、反問イタシマスル事柄デモアリマセスカラ、私ハ口ヲ閉ヂマス

○議長(公爵近衛文麿君) 只今金杉君ヨリ、時間ノ關係上質疑ノ趣旨説明ノ一部ヲ省略シタモノヲ、速記録ニ掲載シタイト云フ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許スコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス、上松泰造君ニ伺ヒマセガ、農林大臣ハ今日出席セラレテ居リマセスガ、政務次官ガ出席セラレテ居リマセスガ、御質疑ニナリマスカ、此際伺ヒマス

○上松泰造君 此際質疑ヲ致シタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御質疑ニナリマスカ

○上松泰造君 ハア

○議長(公爵近衛文麿君) 然ラバ御登壇ヲ願ヒマス

〔上松泰造君演壇ニ登ル〕

マシタガ、本員ハ此三君ノ質疑ニナリマセナンダル農林省所管ノ豫算ニ關シマシテ、御尋ガシタイト存ジマスノデアリマス、最近産業界ノ回復ニ伴ヒマシテ、昭和九年度歳入豫算ニ自然増収ガ相當多額ニ見積ラレテアルト云フコトハ、誠ニ御同慶ニ堪ヘナイ所デアリマス、併ナガラ之ヲ以テ一般景氣ガ好轉ノ徴ヲ示シ、農山村ノ狀況モ著シク改善サレテ、時局匡救事業計畫立案ノ當時トハ、事態ガ餘程緩和サレテ來タト見ル者ガアリマスカラバ、ソレハ事實相違シテ居ルノデアリマス、古來農兵ヲ以テ國家ノ根幹トシテ居ル我國ニ於キマシテ、殊ニ國民ノ過半數ヲ占ムル農民ノ實情ハ如何デアリマスカ、幸ニ米價ハ米穀統制法ニ依ッテ價格ヲ保チ小康ヲ得テ居ルノデアリマスガ、昨年ノ大豐作ト云ヒ、外地米ノ壓迫ト云ヒ、今後ノ價格維持ニ付キマシテハ、現行ノ米穀統制法ニ補強工作ヲ加フルニアラザレバ、大ニ危惧ノ念ヲ懷カザルヲ得ナイノデアリマス、其他ノ農産物ノ價格モ相變ラズ安價デ、到底生産費ヲ償フニ足ラズ、又繭絲價モ、昨年八年度ノ春蠶ノ値上リハ一時のデアリマシテ、夏蠶、秋蠶ト次第ニ暴落ヲ致シ、今年ノ春蠶ニ付テハ、多大ノ惱ミヲ有ッテ居ル次第デアリマス、現ニ景氣回復ノ曙光ト認メラレテ居リマス約一億三千餘萬圓ノ國庫ノ自然増収モ、決シテ農山村ヨリ來タノデハアリマセス、其自然増収ノ内容ヲ仔細ニ検討シテ見ルトキハ、其主ナルモノハ軍需工業ノ隆昌ト輸出貿易ノ旺

盛ニ依ッテ齎サレタ所ノ所得稅、營業收益稅、酒稅、砂糖織物兩消費稅、鑛業稅、取引所稅等ニ於キマシテ約八千萬圓、残り約五千萬圓ハ印紙收入ト專賣益金、配當收入等ノ増収デアリマシテ、何レモ都市商工業ノ景氣回復ヲ意味シテ居ルノデアリマス、之ニ反シマシテ、農山村ノ經濟的窮乏ハ依然タルモノガアッテ、前途誠ニ憂慮ニ堪ヘナイ實情デアリマス、本員ハ曩ニ第六十四議會ニ於キマシテ、内政ニ關スル最重要ナル農村問題ニ付テ、國務大臣ニ御尋ヲシタノデアリマスガ、政府ニ於テハ農村漁村ノ經濟事情ヲ改善スルコトニ付テハ、種々御努力ニナリマシテ、仄聞スル所、昨年十二月内政會議ノ申合セヲ、正式ニ閣議ニ於テ御決定ニナッタト云フコトデアリマス、即チ農民精神ノ作興、農村共同組織ノ徹底、農家負擔ノ輕減、重要肥料ノ統制、蠶絲對策、此五項目ヲ掲ゲテ、窮迫シタル農村ノ爲ニ御配慮ニ相成ッテ居ルト云フコトハ我々衷心カラ喜ビ、且ツ適切ナル具體的施設ノ寸時モ早ク實施セラレムコトヲ切ニ希望シテ居ルノデアリマス、而シテ前議會ニ於テ本員ノ質問イタシタル要綱中、現ニ農家負擔ノ輕減ニ付テハ、既ニ農村負擔調査會ガ設置セラレテ、著々審議ヲ進メラレテ居ルノデアリマス、又米穀對策トシマシテモ、衆議院ノ熱烈ナル要望モアリマシテ、其重要性ニ鑑ミテ、近ク政府ヨリ適當ナル具體案ガ提出セラレルヤノヤウニ承ッテ居ルノデアリマシテ、政府ニ於テ

農村對策ニ付テ、具體的成案ヲ得ムコトニ努メテ居ラレルコトニ對シマシテハ、感謝イタシテ居ル次第デアリマス、然ルニ郡市町村農會技術員費國庫補助ニ關シマシテハ、御提案ノ豫算面ニ何等計上サレテ居ラナイノデアリマシテ、本員ハ甚ダ了解ニ苦ムノデアリマス、前議會ニ於テ農林大臣ノ御答辯ニハ、農會技術員ノ充實ト其費用ノ補助ハ最も必要ナルコトヲ認ムルモ、各種産業團體ヨリ同様ノ要望モアッテ、多額ノ經費ヲ要スルカラ、今直ニ實現イタシ難イガ十分努力スルトノ御意見デアリマシタ、併ナガラ農村ノ窮乏ノ現狀ヨリ救上ガ將來振興ノ基ヲ造リ、國家ノ堅實ナル發展ヲ圖ル爲ニハ、政府ノ各種農業政策ノ徹底ニ俟ツト共ニ、農民自覺ニ依ル自力更生ノ眞摯ナル努力ニ俟ツヨリ外ハナイノデアリマス、而シテ農民ノ自覺ヲ進メ努力ヲ盛ニ仕向ケルコトハ、要スルニ指導者ノ指導デアリマシテ、農村ノ自力更生ノ目的ヲ達スルガ爲ニハ、直接農家ノ指導ニ當ルベキ農會技術員ノ獻身的努力ヲ必要トスルコトハ言フ俟タヌ所デアリマス、殊ニ農村振興對策ノ痛切ニ感ゼラレル今日、農會技術員コソ誠ニ大切デナケレバナラヌノデアリマス、現ニ各地農村ニ於テ模範村トシテ表彰サレタルモノヲ見ルトキハ、例外ナク優良ナル指導者アルコトヲ見出スノデアリマス、伊太利國ニ於テモ、有爲ナル青年ガ農村ヨリ都會ニ走ルヲ憂ヒ、之ガ對策ヲ講ジ、且ツ又多額ノ國費ヲ計上シテ、優秀ナル指導者ヲ各農

村ニ配置シ、農村ノ振興ヲ圖リテ居ルコトデアリマス、高橋大藏大臣ハ一月二十七日衆議院ノ豫算總會ニ於キマシテ、農村自力更生ノ適例トシテ農會技術員ノ成績ヲ認め、熱心ニ其必要ヲ説カレテ居リマス、農會技術員費ノ國庫補助ト云フコトハ、形式ハ輕キガ如クニ見エテ、實ハ農村振興ノ中心ノ事項ナリデアリマス、農村振興ノ不能ハ、實ニ優秀ナル指導者ノ存否如何ニ係ルデアリマス、然ルニ現下ノ農村ノ狀況ハ、是等農會技術員ノ必要ヲ感ジナガラモ、之ヲ設置スル能ハザル農村ガ相當多數ニ達スル現狀デアリマス、又是ハ俸給金額ヲ國庫ヨリ補助スルコトハ、實ニ技術員ノ生活ヲ安定セシメテ農村經濟更生ノ達成ニ專念セシムルバカリデハナク、又農家負擔ノ輕減トモナリマシテ、所謂一石二鳥ノ案ト確ク信ジマス、恰モ國民教育ニ小學校教育ガ重要デアッテ、之ガ俸給ヲ國庫ニ於テ負擔スルト同様ニ、農村振興ニハ指導者タル農會技術員ガ第一ニ重要デアッテ、其經費モ亦國庫ニ於テ負擔スベキモノト考ヘルノデアリマス、農會技術員費國庫補助ノコトハ、國家ノ全局ヨリ見マシテ、決シテ教育費國庫補助ニ讓ラザル重要性ヲ有テ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、此費用ガ本豫算案ニ計上セラレナイト云フコトニ付テハ、誠ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、此要望、此意見ハ決シテ本員一人ノ意見デアリマセス、苟モ農村ニ關心ヲ有ツ者ハ、皆悉ク熱望ヲ有テ居ルノデ

アリマス、併シ近ク農林省所管ニ於テ農村ニ關スル追加豫算ヲ御提出ニ相成ルヤウニ承テ居リマス、ソレハ如何デアリマスカ、御尋ネシタイノデアリマス、又追加豫算ヲ御提案ニナルトスレバ、其中ニ技術員費ノ補助モ御加ヘニ相成ルヤ否ヤ伺ヒタイノデアリマス、此點ニ關シマシテ當局ノ御答辯ヲ希望イタシマス

○政府委員(子爵織田信恒君) 只今上松君カラ、農會技術員ノ補助ニ對シテ政府ハ相當ノ考慮ヲ拂ッテ居ルカドウカ、追加豫算中ニモソレ等ノコトガ入ッテ居ルカドウカト云フ御質問デアリマシタ、申上ゲル迄モナク我が農村ノ更生ニ關シマシテハ、精神ノ方面ノ所謂作興固ヨリ必要デアリマス、ソレト共ニ一方農業上ノ色ニ技術ノ指導宜シキヲ得マセスト、所謂更生ノ過程ヲシテ完全ナラシメナイ處ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ於キマシテ、我々ハ技術的ノ指導ト云フコトニハ重キヲ置イテ居ルノデアリマシテ、先年各農村ヲ私ガ廻リアリマスル農村ハ大變好イ成績ヲ擧ゲテ居ルコトヲ目撃シテ居リマスノデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ我々ミト致シマシテモ、出來ルダケノコトハサウ云フ方面ニ力ヲ致シタイト思フテ居ルノデアリマス、唯御承知ノヤウニ、一般ノ財政ノ關係モゴザイマスノデ、ソレ等ノ點ヲ考慮イタス必要ガアルノデアリマスルガ、此追加豫算ニ致シマシテモ、ソレ等ノ點ニ付テハ、今考究

ヲ致シ交渉ヲ進メツアルノデアリマス、右様ノ次第デ、マダハキリト茲デ申上ゲル時期ニハ至ッテ居リマセヌケレドモ、其程度ノコトヲ申上ゲテ我々ノ意ノアル所ヲ御了解ヲ願ヒタイト斯ウ思フテ居リマス

○上松泰造君 只今政府委員ヨリ御答辯ヲ得マシタノデアリマスガ、幸ニモ我々ノ意見ト同ジデアルコトヲ承リマシテ喜ブノデアリマスガ、併シ實現シナケレバ何ニモナラヌノデアリマス、此前モ農林大臣ガ仰シヤッタヤウニ、是非實現ニ御努力ヲ願ヒマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○議長(公爵近衛文麿君) 本日ハ議事ノ都合上、是ニテ延會ト致シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス、明日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午前十一時四十七分散會

〔參照〕

質問資料(金杉英五郎君演說原稿)

一、國民ノ蒙ル損害

死亡數

昭和六年結核死亡數

死亡率

昭和六年結核死亡率(人)

口一萬ニ對シ

年齡別

一五歳ヨリ四九歳ニ至ル

年齡階級結核死亡數

一五歳ヨリ三四歳同

推定結核患者數

一ケ年結核死亡者ノ一〇

倍ト推算スレバ患者數ハ、三八、五〇人

但シ以上ノ數字ハ實數ヨリモ遙ニ少數ナラント考ヘラル

經濟上ノ損害

假ニ一人一日一圓ノ醫療費トスルモ

四億圓以上ヲ要シ、患者及家族ノ收入減モ亦數億圓ニ達スベシ

治療費増加

結核患者ハ細民層ニ多ク且其ノ經過頗ル緩慢ナルヲ以テ救療施設ノ負擔ヲ増加スルコト甚大ナリ

産業上ノ損害

結核ハ勞働能率ヲ減ズルコト甚大ナリ

教育上ノ損害

結核ハ教育完成期ニ發病スル者最モ多ク、從テ教育ノ成果ヲ損ズルコト甚大ナリ

國防上ノ損失

選兵ニ際シ結核ノタメ不合格トナルモノ甚ダ多ク、又軍隊内ニ於テ發病シ除役セラル、モノ少カラズ 即チ戰鬪力ヲ減損スル虞少カラズ

之ヲ要スルニ結核ノ蔓延ハ國力疲弊ノ根源トナルモノニシテ結核防遏ノ成否ハ國運ノ

盛衰ニ關スルコト大ナルモノアリト言ハザル可ラズ。

二、海外諸國ニ於ケル施設及其ノ效果

國名 死亡率 病床數 相談所 年次

英蘭及ウ 九・三 二、五八 室一 一九元

エールス 七・四 六、六六 三、七二 一九元

北米合衆 八・七 四、二五 一、五五 一九元

獨 乙 八・七 四、二五 一、五五 一九元

日 本 一八・七 八、六二 一、五〇

更ニ結核病床ト結核死亡數トノ比ヲ舉ゲレバ結核死亡一〇〇ニ付キ英國ハ六四・七床、北米合衆國ハ一一・二・二八床、獨乙ハ一一・五・五〇、床ヲ有ス。

相談所ハ英國ニアリテハ人口五萬ニ對シテ一ヶ所、米國ハ二萬八千人、獨乙ハ四萬七千人ニ對シテ一ヶ所ヲ有ス。

三、本邦ニ於ケル結核豫防施設

各種ノ結核病床ヲ併セテ約一萬床アルモノヲ結核死亡一〇〇ニ對比スレバ七・五床ニ過ギズ。相談所ニ至リテハ僅ニ大都市ニ標本的ノ存在ヲ見ルノミ。

四、結核豫防經費

結核豫防施設ヲ充實センガ爲ニ世界各國ニ於テハ國費及地方費ノ支出ヲ惜マズ、現在英國ハ一年一人當ニ馬志、獨乙ニアリテハ一年一人當ニ馬克ヲ支出ス。英蘭及ウエールス（人口三千七百萬人）ハ結核豫防國庫支出金年額一五〇萬磅ニ達ス。然ルニ我

國ニ於ケル結核豫防費ハ國費、地方費、民間團體ノ支出ヲ併セテ尙三百五十萬圓。之ヲ人口ニ割當ツレバ一人當僅ニ五錢三厘ノ小額ニ過ギザルナリ。

斯ノ如キ實況ナルヲ以テ政府ハ誠意ヲ以テ結核豫防ニ要スル經費ヲ調達スル責任アリ。現今時ニ或ハ地方ノ府縣或ハ都市ニ於テ結核療養所ヲ設置セントスルモ國庫ニ補助豫算ナキタメ其ノ計畫ノ實現ヲ阻害スルノ奇觀ヲ呈セリ。政府ハ健康保險、簡易保險等ノ資金ヲ活用シ、或ハ救護法ヲ擴大シ、或ハ特殊ノ財源ヲ工夫シ、結核豫防ノ目的ヲ達成シ得ル程度ノ施設ヲ速ニ完成スベキモノトス。

貴族院議事速記録第一七號正誤

頁 段 行 誤 正
一八四 二二六 聊カ齊シ 聊シ齊シ